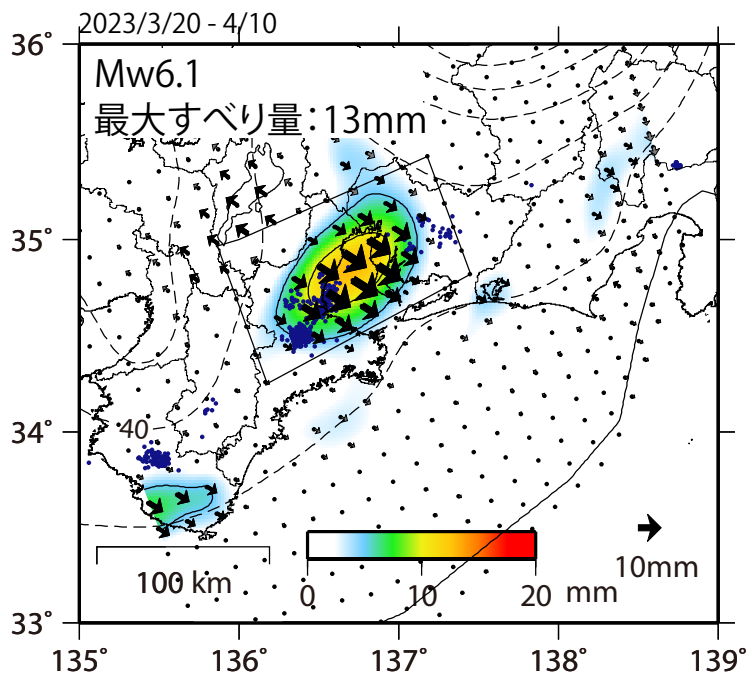


GNSSデータから推定された

東海地方の深部低周波地震(微動)と同期したスロースリップ(暫定)

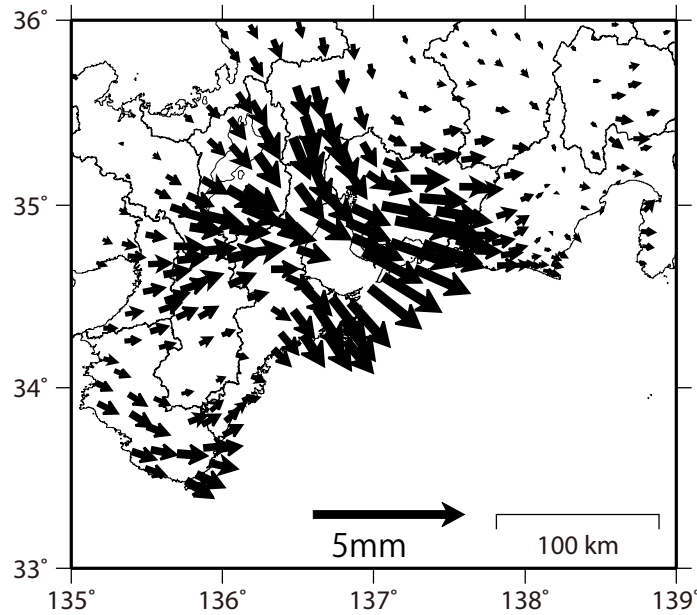
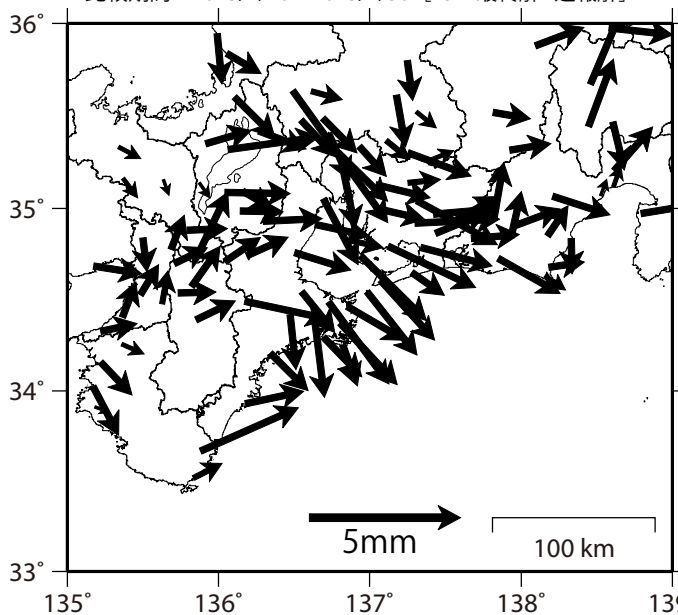


Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

計算

基準期間：2023/3/1~2023/3/20 [F5：最終解]
比較期間：2023/4/10~2023/4/30 [F5：最終解+速報解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。

また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点は除外している。

解析に使用した観測点の範囲：概ね北緯33~35.6°、東経135~138.8°

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2023/2/1- 2023/4/16) +R5解(2023/4/17-2023/4/30) *電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周は 2017/1/1-2023/4/30のデータで補正)

モーメント計算範囲：図の黒枠内側

黒破線：フィリピン海プレートの上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向：プレートの沈み込み方向に拘束

青丸：低周波地震(気象庁一元化震源) (期間:2023/3/20 - 4/10)

コンター間隔：5mm

固定局：三隅